

第1回「TeaTime講演会」が 岡田美里さんを招いて開催されました

当院の患者様だけでなく、地域の方々にもご参加いただき、午後のひとときを楽しんでいただこうと「TeaTime講演会」を企画。その記念すべき第1回は、去る6月2日モデルでアトリエ・ミリミリー主宰の岡田美里さんを招いて、当院6F展望レストランにて開催されました。100人以上の女性に集まってお話いただき、美里さんご自身の出産や育児の体験、また全米ベストセラーとなったカリスマベビーシッターといわれるトレイシー・ホッグの育児本を翻訳したエピソードなどのお話について、同じ女性として共感できることも多く、興味深く耳を傾けていました。講演後のサイン会や記念撮影にも快く応じていただき、和気あいあいとした雰囲気の中で幕を閉じました。次回企画をどうぞお楽しみに！



※岡田美里さん翻訳の「魔法の育児書」シリーズ全4巻は1Fショップ「ゆうゆ」にて好評販売中！

平成16年上期 佐藤病院データ

当院の平成16年1月から6月までのデータをお知らせします。

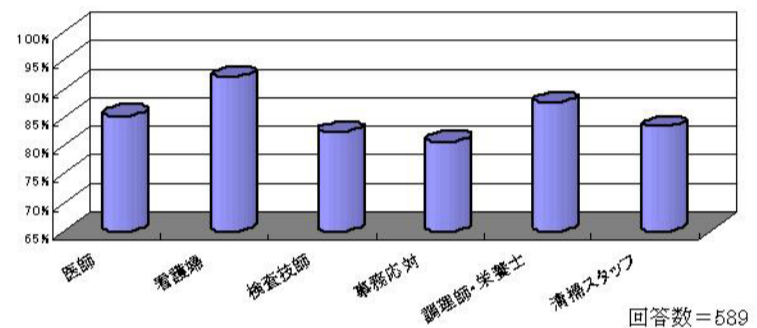
■外来数	24,334人	(1ヶ月平均4055.7人)
■分娩数	767人	(1ヶ月平均127.8人)
■手術数	517件	(内 開腹手術167件) 帝王切開術：115件 腹腔鏡下手術：42件

当院の不妊治療上期 成績

■人工受精の妊娠率	→ 6%	(昨年度5.4%)
■体外受精胚移植あたりの妊娠率	→ 31.8%	(昨年度22.2%)
内 36歳以下の妊娠率	→ 40.0%	

★当院では毎月入院患者様にアンケートを実施しております。各部署ともほぼ8割の患者様より、満足のご意見を頂きました。今後とも皆様に愛される病院を目指してまいります。

入院アンケート満足度調査



「女性医師外来」のお知らせ

当院では毎週水曜日の午前中は、女性医師のみ3名による外来診察を行っています。女性の身体は複雑で、年齢と共に様々なトラブルに遭遇しがちです。でも、敷居の高い産婦人科、しかも男性医師にはなかなか相談しづらいという方でも女性医師なら気軽に相談できるのではないのでしょうか。皆様ぜひご利用ください。

■受付時間 毎週水曜日 8:00~11:30
(事前予約可能・詳細は受付まで)

※水曜日以外で、女性医師をご希望の方は、受付の際にお申し出ください

(写真) 左から
佐々木弘美医師
永井富裕子医師
山本祐華医師



「胎教コンサート」のお知らせ♪

来る9月に、妊娠中の方とそのご家族を対象にした「胎教コンサート」を行います。テーマは「愛を感じるコンサート」お腹の赤ちゃんとお母様の絆を深め、この世界はこんなに素晴らしいところなんだよと教えてあげるいい機会です。お母様も楽しめて、大切な子供達に聴かせたい音楽とはどんなもの？そんな問いかけに答えてくれそうなコンサートになりそうです。お楽しみに！

日時：9月25日(土)
14:00開場 14:30開演(約1時間)

場所：6F 展望レストラン
入場無料

歌と演奏：あかみくみこ

※詳しくは院内掲示のポスター・チラシをご覧ください



～JohnsHopkins大学病院への研修旅行記～

副院長・佐藤雄一



JohnsHopkins大学病院



大学病院を臨む雄一医師(右端)

去る5月のゴールデンウィーク明け、順天堂大学時代の先輩とともに、米国ワシントンDCの近郊ボルチモアにあるJohnsHopkins大学病院へ研修旅行に行ってきました。連休明けで患者様や病院のスタッフには多大な迷惑をかけましたが、有意義な研修であったので、その一部をここで紹介させていただこうと思います。

目的は米国のInformatics(医療情報学)を学ぶことです。JohnsHopkins大学はInformaticsの分野において、米国でも最先端を行く病院を構築しております。Informaticsといっても何のことかわからないと思いますが、いわゆる病院でのIT活用です。それは電子カルテに始まり、薬剤管理、セキュリティ、リスクマネジメント等あらゆる病院業務に関係してきます。これから数回にわたり、米国で見聞き・経験してきたことをエピソードも含め旅行記としてお知らせしようと思います。乞うご期待！

編集後記

先日、5歳の次男(只今反抗期!)の行いにブチブチと私。「どうしてそんなの?約束守れないなら外に出します!」と女関からしめだすと、次男は泣き怒りガラスをパンチ!ガシャーンと砕け散るガラス、その瞬間泣き声に「ギャー痛いよオ」と叫び声が混ざり…。それから、まるでスローモーションのよう。震える身体で次男を抱きかかえ、水道で傷口を洗い手ぬぐいで止血。救急病院へ電話し、急行。鮮血と汗と涙の次男の身体を必死で押さえながら、5針縫合。手のひらの半分が傷となってしまいました。同居の義父母にもとがめられ、痛々しい包帯姿の次男を見て反省することしきり。その夜は、「もしあの傷が手首だったら…」と涙が止まりませんでした。翌日、看護師に話すと「ああ、私も経験あるわ」「そんな親の気持ちも子供はちゃんとわかってきているから…」と。少し救われた私です。次男はその後変わらず…。ですが。(招福姉)

久しぶりに東京に行き、学生時代の友人と楽しい時間を過ごしました。リフレッシュすると仕事のスピードUPに繋がりますね。7月は早朝出勤&残業続きでしたが、これから夏を満喫しようと思います。京都・大阪・北海道・沖縄…楽しみです☆(招福妹)